

1620 | 教育心理学

2 単位 (通信授業 2 単位)

中尾美月講師

授業の概要と目標

教育心理学の知見に基づく教授法ならびに学習指導の原理や仕組みに関する基礎的事項の理解、把握を目標とする。なかでも特に、近年の学校教育で重視されている学習者主体の指導・教授について、自主性や主体性を育てる指導・教授に必要な条件、それらが損なわれる際に引き起こされる問題などの観点から考察する。教科書では、1. 様々な学習の仕組みや原理、2. 「やる気」と呼ばれる心理状態、3. 教授方法・学習指導の形態、4. 教育評価を中心に、教師による教授と生徒の学習に関する概観を把握する。

課題の概要

○通信授業課題 1

自己や他者の経験をふまえ、実際の学習活動において「やる気」が高められた事例、逆に「やる気」が低下させられた事例を分析研究する課題。

○通信授業課題 2

教科書をふまえて、教育心理学的知見から、学習動機を高め、持続させる教授・学習指導法を考察する課題。

* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書の第 3 章、第 4 章、第 6 章、第 7 章を使用する。

第 3 章 ほめることの大切さ

古典的条件づけによる学習／道具的条件づけによる学習／観察による学習／自己強化による学習

第 4 章 「やる気」を考える

期待－価値モデル／統制感／原因の考え方／内発的動機づけ

第 6 章 どのように教えるか

学習指導の形態／発見学習／受容学習／グループ学習と個別学習の具体例／適性処遇交互作用

第 7 章 児童・生徒をどう評価するか

教育の成果を評価する／評価のための情報を得る方法

成績評価の方法

◎科目試験

教科書の該当部分より論述形式の問題を出題する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 2～4 年次

[履修条件] 教職課程に登録していること。

[備考] 2 年次の履修が望ましい。

教材等

教科書：鎌原雅彦・竹網誠一郎『やさしい教育心理学』（有斐閣 1999 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）